

2004年10月21日

原子力委員会新長計策定会議議長 近藤駿介 様
新長計策定会議 各委員 様

意見書

この度は青森での「第17回長計についてご意見を聴く会」の開催ご苦労様でした。
今回の「聴く会」での青森県民の生の声は参加いただいた原子力委員会委員各氏、策定委員各氏にとっても意義深いものであったことと思います。

しかしながら、本来であれば、新長計策定会議で再処理政策を論ずる前に再処理工場を抱える青森県で委員すべてが参加しての「ご意見を聞く会」の開催こそが必要だったのではないのでしょうか？

今回の「聴く会」はこれまでの策定会議の議論が、いかに立地県の住民の声を抜きにコスト論を特化させた形で交わされていたのかを痛感させるものでした。

パネラーの発言の後、会場からの発言を求める挙手は時間切れまで続き、木元委員をして「朝までナマで（聴く会が）必要ね」と言わしめるほどでした。とにかく時間が足りませんでした。

決して青森県民は再処理工場の性急な稼働を望んでいるわけではありません。

つきましては、今回の「聴く会」を「聴きっぱなし」で終わらせることなく、今後の長計に十分反映させていただきたく、以下を求めます。

1. 今回の青森での「聴く会」で出された参加者の意見を全てテープ起こしをして会議録を作成し、全委員に配布し議論の資料として活用すること。
2. 作成した会議録とそれに基づいて議論した経緯と結果を今回の各パネラーと青森県、青森県議会、県内各マスコミに配布すること。
3. 青森県民が推進・反対の意見を公平に発言できる形で、策定会議を青森県内で公開で、開催すること。
4. これまでの原子力長期計画策定で行われていた国民の意見募集を、新長期計画の一部である核燃料サイクルについても行うこと。
5. 核燃料サイクル政策の決定にあたっては以上の4点をふまえ、十分に国民的議論を尽くし、青森県民および国民の意見を反映させること。これら抜きに策定会議にて核燃料サイクル政策についての結論を出さないこと。

以上

呟 清悦（第17回長計についてご意見を聴く会パネラー）

青森県民の意見を新長計に反映させる会